
「マイクロプラスチック・ナノプラスチックの脳梗塞に対する影響」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、脳梗塞と診断され、経皮的血栓回収術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

プラスチックは医療機器や日用品に幅広く使用されていますが、近年、プラスチックが微細化したマイクロプラスチックの生体への摂取と影響が示唆されています。最近の研究では、脳血管や脳組織内からもマイクロプラスチックが見つかっており、脳疾患への影響が指摘されていますが、詳細な機序はわかりません。この研究では、患者さんから回収した脳血栓内のマイクロプラスチックの有無を調べ、脳梗塞の予後やその後の心血管病発症との関連を調べることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

脳血栓から分離されたマイクロプラスチック

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究代表者である前田拓真が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

脳梗塞に対して経皮的血栓回収術で得られる血栓の余剰検体

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学国際医療センター 脳血管内治療科 前田 拓真（研究代表者）
- ・東洋大学 生命科学部生体医工学科 木村剛

・東北大学 大学院工学研究科材料システム工学専攻 生体機能材料学分野 山本 雅哉

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

＜提供元機関＞埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

＜提供先機関＞東洋大学 生命科学部生体医工学科 研究責任者 木村剛

東北大学 大学院工学研究科材料システム工学専攻 生体機能材料学分野

研究責任者 山本 雅哉

5. 試料・情報の提供方法等について

＜試料＞個人が特定できないように加工した検体を専用容器に封入し、追跡可能な輸送方法により、解析を委託する東洋大学・東北大学へ送付します。

＜情報＞個人情報の送付は行いません

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 武 裕士郎

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：42-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：マイクロプラスチック・ナノプラスチックの脳梗塞に対する影響

○研究代表者：埼玉医科大学国際医療センター 脳血管内治療科 前田 拓真